

事務事業評価シート

(H.28)No.	1460	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	空家対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	営繕住宅室	鷲阪 文宣	

会計区分	事業コード	422701
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	空家対策事業	
項 住宅費	(小事業名)	
目 住宅総務費	空家対策事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	3	快適な生活環境づくり
	施策	3	住宅・住環境
	小施策	1	住環境整備
重点施策コード	2-4.わが街リフレッシュプロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
若者等が安心して住み、子育てができる住環境の創出と、地域コミュニティの活性化、まちづくり活動の促進を図ることを目的とします。
事業内容
空家等の積極的な活用と危険な空家等の除却を行なうなど、空家等がもたらす問題に総合的に対応していきます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
	名張市空家等対策の推進に関する条例制定 空家等対策推進協議会設置 空家等対策計画の策定 空家等実態調査実施(2128棟) 空家等に関するアンケート調査実施(503件)	空家等実態調査実施(1466棟) 空家コーディネート業務委託 空き家バンクの創設 子育て世帯リフォーム費用助成(5件) 空家等の適正管理の促進	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理	空家等対策計画に基づく空家等の活用促進及び適正管理

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	10,016千円	14,051千円	14,051千円	14,051千円	14,051千円
内訳(千円)					
国・県支出金	10,000	0	0	0	0
地方債					
その他()		6,000	6,000	6,000	6,000
一般財源	(0)	8,051	8,051	8,051	8,051
人工数					
職員	1.00人	2.20人	2.20人	2.20人	2.20人
臨時職員等	0.00人	0.80人	0.80人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 7,600千円	18,080千円	18,080千円	16,720千円	16,720千円
①+②総事業費	(0千円) 17,616千円	32,131千円	32,131千円	30,771千円	30,771千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
県下で先駆けて協議会を設置し、空家等対策計画においては三重県初の策定となるなど、先進的な取り組みを行うことができた。	昨年度末に策定した空家等対策計画に基づき、空家等の活用促進及び適正管理の促進を行っていきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	空家等対策計画を策定したことにより、今後の空家等に対する施策の方向性を示すことができた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	関係団体から選出いただいた委員による空家等対策推進協議会を設置し、連携して空家等対策に取り組んでいます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
空家等は、人口の減少とも相まってますます増加するものと考えられる。また、住宅団地においては、住宅の老朽化と住民の高齢化が同時に進行しているため事態は深刻であることから、今後さらなる取り組みの強化が必要と考えられます。	名張市空家等対策計画